

# 高速製織機の導入と 見える化で稼働率アップを実現

## 課題

### 高い技術や商品開発力の反面、 管理部門の弱さなどが課題

坂井市にある小杉織物株式会社は、浴衣帯製造で国内の9割のシェアを確保している織物企業だ。

海外産に対抗すべく、生産体制を強化し、生地、製織技術の改善に取り組む事業活動は、産地の保護にもつながっている。産地の強みを活かし、川上企業、織機メーカー、県の研究機関などと連携した技術開発により、小ロット・多品種生産に対応し、ポリエステル糸に特化した生産で、海外産に比べても遜色のない価格競争力を維持。最終製品の販売は国内大手和装業、さらに大手スーパーなどにも及んでいる。

こうした積極展開の背景として、年間3000種類を超える商品開発力、高速製織技術、アウトソーシングの有効活用が挙げられる。

その反面、管理部門などバックオフィス業務の弱さを克服するとともに、成熟業界のなかでさらなる成長を図るために、生産体制の効率化、商品開発および改善の継続、後継者や組織力の育成・向上が課題になっていた。

## 支援

### バックオフィスの充実強化と さらなる生産力強化を

そこで福井県商工会連合会では同社に対し、バックオフィス分野を中心に支援にあたった。

具体的には、機械メーカーや海外仕入れ先などについての情報提供、会計士・社会保険労務士の紹介、さらに経営計画の策定、経営革新計画の申請支援などである。このほか税務の助言や、経営者に新たな観点をもたらす目的でブレーストーミングの提供などを実施している。

また、経営力向上計画の策定支援において新たな織機導入に話がおよんだことから、ものづくり補助金の活用を提案。申請支援を行うとともに、生産についてのブレーストーミングを展開。そのなかで、機構はそのままに、素材を従来のポリエステル糸ではなく中空糸または天然繊維で高速製織する技術の可能性を探ることになった。これは世界初の試みで、そのため、織機の振動抑制技術の研究に取り組むことになった。

商工会では、この研究を前提にものづくり補助金の申請支援を実施。また、それとは別に実用新案の浴衣帯をさらに改



同社工場で稼働する高速製織機

良し、やはり実用新案を申請するために弁理士への相談を進めた。

こうした支援の結果、ものづくり補助金は採択され、円滑に事業化が進められることになった。また、稼働状況の「見える化」を進めたことにより、稼働率が30%向上する成果も得られた。

今後は、現在取り組んでいるインクジェットプリンターを活用した浴衣帯などの受注増が見込まれるが、生産体制の改善により、コストダウンにも期待できる。

## 支援の経過

期間	支援内容
H28年8月	経営力向上計画の申請支援
12月	実用新案特許の申請支援
H29年3月	ものづくり補助金の申請支援
10月	実用新案取得の申請支援
11月	IoT導入補助金(福井県)の申請支援

## 会社概要

会社名：小杉織物株式会社  
 所在地：福井県坂井市丸岡町猪爪5-3-1  
 電話番号：0776-66-0255  
 URL：https://kosugi-orimono.co.jp/  
 代表者名：取締役社長 小杉秀則  
 創業年：昭和39年  
 年間売上高：15億3336万円（平成29年）  
 従業員数：54名  
 商工会名・担当者名：福井県商工会連合会・林正浩